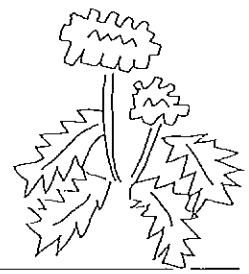


たんぼほ

NO 1 1 3
H 8 年 11 月 1 日
一 発 行 一
〒 8 6 9 - 1 2
熊 本 県 菊 池 郡
大 津 町 森 5 4 - 2
社 会 福 祉 法 人
三 気 の 会
三 気 の 里
☎ 0 9 6 - 2 9 3 - 8 1 0 0



運動会

理事長 田中 稔

今年も、秋分の日の前日、台風の進路を心配していたのが嘘の様な好天に恵まれて、三気の里、三気の家合同の運動会が保護者も参加して、里の運動場で行われました。総勢400名近い、小さな小学校並の運動会になりました。

2、3歳の小さな子から、年配のおじさんまで参加する、なんともにぎやかな運動会です。運営担当スタッフは何度も打ち合わせをして、この子たちに合ったゆつたりとした、よく工夫されたプログラムを作ってくれました。

走ることひとつ取っても、マイペースで、人に合わせて一緒にという事が、又最後まで頑張るという事がなかなかできません。が普通の学校と違うところは、できるまで待つということが、運動会の趣旨ですから、おおらかさがあり

ます。園生にとっては楽しみであつてほしいから、参加してくれることが大切なのです。開園時より今日まで、この運動会を見続けてきた保護者には、よくここまで、この園生たちが、これだけの運動会らしい運動会をやるようになったと涙が出るほど嬉しいことなのです。

又一緒に最後まで参加した幼児さんたちの様子も、年配のお母さんたちから「昨年よりずっとよくなっています。自分たちの子供も小さい頃から療育を受けさせてやっていたら」という声を聞きました。

三気の里は敷地の広さが五千坪あり、夏から秋にかけて雑草がワンサカと茂ります。運動会の為に園生、職員、保護者等、皆で草抜き、草刈りと汗を流します。雑草が茂ってくれることで、作業課題が生まれます。皆で汗を流し、草

を抜き、集めて、ニワトリの餌や堆肥にしたりしています。その各々の過程にそれぞれの子供の能力に合った作業課題が生まれます。雑草も又大切な作業課題なのです。雑草が茂ってくれることと園での生活が共生しているのです。

近藤 原理先生の「なぜな園」が長くお風呂に薪を使っておられたと聞きました。電気やガスでは薪のように、それを割る人、集める人、運ぶ人、燃やす人等、いろいろな課題が風呂を沸かす過程に生じてこないのです。便利になることは人の仕事を奪うという面もあるのです。そういう社会は障害のある人には住みにくい面もあるのです。

運動会という行事をとうして、そこで暮らす子供達の楽しみや生きがい作りの一面を見ることができま

ます。

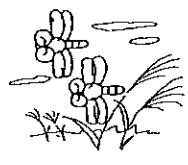
一のん気 - 二ん気 - げん気

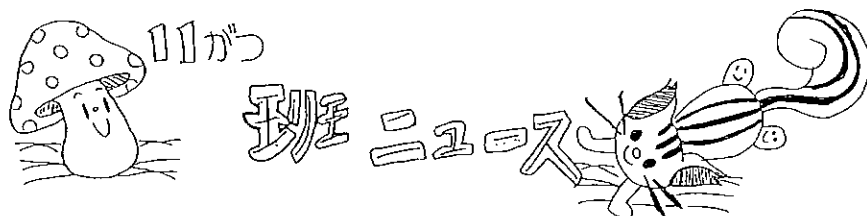
▽先日、ドウタンツツジの燃えるような赤い紅葉に出くわすことが出来た。ある年の秋、紅葉が見たいと何度も九重に登ったが、運悪く見ることが叶わなかった。今回は紅葉を目当てに出掛けたつもりではなかったのだが、うれしい誤算だった。

▽秋になると、気温が低くなるせいか、視界が広がり自然の色が際だって見える気がする。そんな自然に触れたくて、山に登りたくなる。高岳から望む根子岳もいいな。

▽収穫の秋を迎え、三気の里の周囲もコンバインが忙しく稲をかり、刈られた稲はロールに巻かれ、四角に結束され田圃に広がる。いよいよ冬支度である。

▽昨年11月号のたんぼぼに棟上げの事を触れていたが、今年もうれしい棟上げが行われた。砂野氏の力で、外用のトイレが完成に近づいたのだ。念願叶っての外用トイレである、大切に使おう。





1班 - 爽りなき秋と5人の勇士

朝夕の風がめっきり冷たくなり、木々の葉も少しずつ色づき始めました。秋といえば、毎年畑のさつま芋の太り具合が気になる季節ですが、今年の1班の畑には一面の草、草、草。ところどころに鶏の餌用にまいた青菜が申し訳なきように立っています。このところ、室内作業が順調で、屋外での作業になかなか取り組みなかつた結果が、この「収穫なしの秋」でした。しかし、畑を見下ろす鶏の冷やかな視線に耐え切れず、鶏の世話係5人がついに立ち上がりました。コンテナに持ち切れないほどの草を取るヒデくん、背の低い草を次々に取るのりちゃん、草についた土をトントンと落とすえいちゃん、取りにくい草の根を懸命に引くかっちゃん、声掛けをよく聞いて草を取る俊ちゃん。みんな、こんなに上手だったかしらと目を見張る。室内作業のときより生き生きして見える。こんなGONINの活躍で、畑もやっと生き返りそうです。1班の収穫の秋は、晩秋に訪れることでしょう。 平川

2班B - 秋味

木々の葉が日毎に色を濃くし、スポーツ・読書・食欲と盛りだくさんな秋ですが、今回私たちの2班Bのメンバーは食欲の秋を求めて10月9日、西原村にある風の里にバーベキューに行きました。食欲旺盛の皆なので、どうなることかと職員はハラハラ、ドキドキでした。

現地に着き、バーベキューの準備。焼き始めたとき、ブルーシートに座っていた皆の目は一斉にバーベキューに集中。それより早く職員の後ろから覗くように見つめていたのは淳ちゃん。焼き上がりいつもより沢山食べて満足していた聡ちゃん、よっちゃん、文ちゃん、正樹くん。食べ過ぎて気持ち悪そうにしていた龍ちゃん。ニコニコしながらゆっくりと味わう博ちゃん、まーちゃん。民さん、さゆりちゃん、由布子ちゃんは女性らしくおしとやかにバーベキューを楽しんでいました。その中で最後まで残ったものを処理してくれた明日香ちゃん。バーベキューが終わり、後片付け、そこで活躍したのが泰彰くん。重いものも一人で運んでくれます。

その後はアスレチックでみんな大はしゃぎ。今回は食欲の秋とスポーツの秋をみんなで満喫しました。 山口

5班 - 秋真っ盛り

木々の葉も鮮やかに色づき、山々も冬支度を始めました。園芸班の作業も「栗拾い」「杜仲茶摘み」と秋の色に染まってきました。外作業のときになると急に作業準備が早くなり、車が来るのをまだかまだかと待っている武ちゃん。いつも準備が早く、おいて行かれないようにと玄関前で心配しながら待っている陽ちゃん。皆の作業に対する意気込みは素晴らしいものがありますが、皆のお目当てはやはり、お弁当・栗・おやつようです。お弁当を食べるときの皆のおいしそうなお顔！満面の笑みを浮かべながら黙々と食べてしまいます。食欲の秋とはよく言ったもので、大盛りのお弁当でもまだ足りないと言いたそうな顔でじっとこちらを見つめている泰ちゃん、やっちゃん、典くん。（秋にかかわらずいつもかな？）

あっそう言えば、皆さんは秋を見つけに行かれましたか？三気の里では11日に登山に出掛けました。園芸班のメンバーの半分以上が久住山に登り、美しい紅葉を見て来ました。（私は紅葉を楽しむよりも登ることで必死だったような…）みんないい色に焼け、益々いい男になって帰って来ました。有働

3班 - 稼き時？

朝夕は肌寒さを感じるくらいになり、夕方には西の空に美しい秋の夕焼けを見ることができるところ、皆様いかがお過ごしでしょうか？

秋と言えば、スポーツの秋・芸術の秋といろいろありますが、私たち3班は食欲の秋はもちろんのこと現在は“収穫の秋”が一番ピッタリきているようです。木工班で収穫の秋と言うのはおかしいと思われる方もおられるかもしれませんが、10月26日からの愛護の作品展、それと11月10日からの大津からもフェスティバルに作品を出展するために今、木工班では大忙しです。それもそのはず、この2つの行事の稼ぎ次第で来年の木工班の活動が占えるからです。

今、製作しているものの中で大物は、今年度から、溝を持して復活したスノコや、スノコを基礎にして応用してできた、いすやテーブル等があります。小物ではクリスマスツリーと可愛いお月様のキーホルダーなどで、他にもくま・マンボウ・たこ・いか等のキーホルダーがあります。修ちゃんが糸ノコで切ったものをみんなでペーパーがけをし、誠ちゃんがヒートンはめをして、最後に職員が仕上げをするといったように木工班みんなで作り上げた作品です。時間があられる方はぜひ立ち寄って私たち木工班の作品をご覧ください。 石井

4班 - 実りの秋

黄金に輝き、風に揺れる稲穂の雄姿。道端に可憐に咲く色とりどりのコスモス。そして、頬をなでる冷たい風。体一杯で秋を感じながら、今日もまた農耕班の元気な面々は、畑へと飛び出して行きます。飛び出したその先には…少しばかり辺りの秋の様子とは違った、なぜか青々としたものばかりが目につきます。〈実りの秋・収穫の秋〉というのに大丈夫なの？と思われる方も多いと思いますが、ご安心ください。私たちがグテに農業をかじっている訳ではありません。今は少しばかり寂しいですが、このタンポポが皆さんのお手元に届くころには、ちょっと遅れ気味の“さつま芋”が掘り上げられているだろうと思います。そしてその後を追うように、皆さんの一家団楽の陰の助っ人～鍋の主役“白菜・ホウレン草・大根”～たちがお目見えすることでしょう。農耕班のみんなが頑張ったおいしい野菜、楽しみに待っていて下さいね。ところで、今回は宣伝ばかりでしたが、次回は宿泊レクレーションの様子をたっぷりお伝えしますので楽しみに待っていて下さい。きっと皆さんの期待を裏切らない“珍道中”になることでしょう。 麻生



秋の全員登山(宿泊編)

坂井省英

秋の登山は、11日・12日の2日間にわたって小春日和の中で九重、矢護山、運動公園とに分れて、それぞれ設定された目標に向かって、登山が行われました。

今年は、キャンプ場で宿泊をしようとして張切って考えたのですが、初めての事も残りながら一部のグループで実験的に行いました。その時のエピソードを綴ってみました。

11日、前日の秋雨気味の寒さまでこへやら、行楽日和のスタートとなりました。健脚揃いのAグループとBグループの2チーム園生31名と職員10名は緊張の面持ちで、マイクロバス、ワゴンの3台に分乗し大分・九重に向かいました。

今回の目標は、最高峰の久住山が噴火の影響で、入山できないこととあり、隣の扇ヶ鼻に定めていました。長者原を出発し九州自然研究路、自然歩道、から牧の戸に至り心臓破りの急勾配コンクリート舗装路を通り、山並みの美しい道を過ぎ、久住分かれも過ぎると、ミヤマキリシマの低木群が現れ、全体が一望できる扇ヶ鼻山

頂に至り、帰路はそれを往復するコースを辿りました。総距離14キロあまり、6時間程度を要しました。と書いてしまえば数行で終わりますが！

今回の登山は日帰りでないことで、余裕をもった計画になる予定でした。ところが、コースの拡大は、エネルギーを奪い激しい疲労をもたらし、私自身も過信していた訳では無いのですが、足も棒の様でした。

6時間ほど黙々と歩く園生の姿を見ていて、頼もしさを感じながら、弱音を吐いている自分が情けなくなりました。

今回利用させて戴いた泉水(せんすい)グリーンパーク・キャンプ場は、全員を収容できるような大きなバンガロー設備を持った施設で、大変助かりました。職員はへとへとでしたが、元気のいい皆はキャンプ場を散策出来ずつまらなかつたかな。

入浴は、備え付けの露天風呂に全員でつかりましたが、疲労困憊の職員は段取りもうまく行かず、焦るほど進まず苛々がつり、夜空の星数が多く輝く下で、私の体は冷えきるばかりでした。

寒いはずの山のキャンプ場も人いきれと宿泊・雑魚寝の初体験は興奮を引き起こしたせいか、殆ど感じる間もなかった。いつの間にか職員はぐっすり夢の中にいました。

朝、園生の多くは目覚めも早く、ゴソゴソ動いていたようですが、職員を氣遣ってか我慢していたようです。遅い朝食をとり帰路につくとバスの中では、疲れた職員の寝息と園生の掃毛の興奮が錯綜していました。

今良堂岩呂農業中



10月11日に登山が行われました。私は散策グループに参加することになりました。木々は秋の紅葉が始まり、暖かい太陽の下をのんびり園生と共に歩きました。楽しい時間を過ごした後、みんなが何よ

りも待っていたお弁当になりました。自然の中で食べる食事は美味しらしく、みんないつもよりも食欲があるように見えました。私も外で食べるお弁当は珍しかったので、園生に負けないくらい沢山食べて、沢山遊んだ一日でした。

上村

栄養の話「サツマイモ」
サツマイモにはビタミンCやBカロチンがたくさん含まれています。サツマイモのビタミンCは、他の野菜と違って加熱しても損失が少なく、焼き芋の場合は9割は残ります。またサツマイモには、ヤラピンという成分が含まれており、これには便通を促す作用があり食物繊維もたくさん含まれているので便秘予防に効果的です。これから石焼き芋がおいしくなる季節です。おやつにひとついかがでしょうか。

上村



11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
					1	2	
3 同文化の日	4 振替休日 伊波俊くんの誕生日(30)	5	6 ①1 順徳道レクレーション(山口・萩)8日まで	7	8	9 の保護者会-斉藤宅日 石岡さんの誕生日(55)	
10 せからいもフェスティバル	11	12 由布子ちゃん <small>ゆふこちゃん</small> の誕生日(29)	13	14	15 心理リハ全国大会(17日まで)	16	
17	18	19	20	21 ④4 順徳道レクレーション(別府・湯布院)23日まで	22 /タンポポ編集日	23 同勤労感謝の日 島原をバス	
24 久美加ち <small>くみかち</small> ちゃんの誕生日(20)	25 赤池 <small>あか池</small> さんの誕生日(49)	26	27	28	29 米田 <small>やねだ</small> くんの誕生日(21)	30 池谷 <small>いけや</small> くんの誕生日(28)	



ボランティア通信

朝晩の冷え込みが厳しくなり、少しづつ冬の気配が感じられる今日このごろですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。(沿道のコスモスが満開でわたしたちの目を楽ませてくれています。)

先日、ある園生から「今度はいつボランティアの人が来るの？ボランティアの人と遊ぶのが楽しみです。」等と言った声を耳にしました。三気の里の皆は、皆様の御来園を心からお待ちしています。ぜひ、遊びにいらして下さい。詳しくは、ボランティア担当の石丸、佐藤、満原まで御連絡下さい。 満原
(ボランティアありがとう)
☆フラッシング指導 森 隆子
☆散髪 坂本シマコ 泉美千代
☆生け花 西村栄子

(お詫び)
先月号で、運動会ボランティア中牟田さんとお書きしましたが、清掃ボランティアの間違いでした。申し訳ありませんでした。



取り遅え物語
先日、元職員の結婚式に出席して来た時のことである。

私達、元同僚と共に音楽クラブのメンバー4名も一緒に招待され、ハンドベル演奏をご披露させて頂いた。

演奏曲目は、「主、人の望みよ、喜びよ」、「ハッピーバースデー」の2曲でした。舞台に揃った4人は指示する坂本に合わせて美しい音色を聞かせてくれていた。曲の途中で、演奏者の順番の違っている事に気がついた坂本は、蔡ちゃんと民さんの位置を交替させたのですが、慌てず騒がず続けた演奏に感動せずにはおれませんでした。彼らの演奏に聞き入る美しい花嫁の頬に流れる涙は、聞き入る者の時間がゆっくり戻っているようでした。

そうそう、舞台にリンとして映いた由布子さんも勇ましい博君も立派なエンターティナーでした。感動は如何ですか、ハンドベルの美しい音色の演奏を出前致します。ご用命は、三気の里音楽クラブまで。



坂井